



エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社
平成24年3月期 決算発表
補助資料

平成24年5月10日

連結

1. 連結決算の概要	1
2. セグメント別業績と主な子会社の状況	1
3. 設備投資の状況	2
4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由	3
5. 有利子負債の状況	3
6. 販売費及び一般管理費の主な内訳	4
7. 特別損益の内訳	4
8. 従業員の状況	4

百貨店事業

1. (株)阪急阪神百貨店の業績	5
2. 店別売上高	5
3. 商品別売上高	6
4. 販売区分別売上高	6
5. 月別売上高前年比の推移	6
6. その他の項目	7

連 結

1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成23年度実績				平成24年度予想			
	上半期	下半期	通期	前期比	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	236,382	269,206	505,588	108.7%	230,000	300,000	530,000	104.8%
営業利益	3,660	6,297	9,957	94.3%	400	9,600	10,000	100.4%
経常利益	3,840	6,469	10,309	92.0%	900	9,500	10,400	100.9%
当期純利益	△ 1,237	2,294	1,057	34.0%	2,400	3,000	5,400	510.9%
減価償却費	5,950	6,687	12,637	128.7%	5,862	8,744	14,606	115.6%
金融収支	403	91	495	93.8%	398	114	512	103.6%
設備投資	2,556	10,312	12,869	37.5%	4,206	26,746	30,952	240.5%
売上高営業利益率	1.55%	2.34%	1.97%	△0.30	0.17%	3.20%	1.89%	△0.08
売上高経常利益率	1.62%	2.40%	2.04%	△0.37	0.39%	3.17%	1.96%	△0.08
1株当たり当期純利益(円)	△ 6.60		5.74	△9.33	12.36		27.81	+22.07

2. セグメント別業績と主な子会社の状況

(単位:百万円)

会社名	事業の内容	所有割合	平成23年度実績				平成24年度予想			
			売上高		営業利益		売上高		営業利益	
				前期比		前期増減		前期比		前期増減
㈱阪急阪神百貨店	百貨店業	100.0%	375,512	107.1%	6,319	△2,411	386,346	102.9%	7,500	+1,180
百貨店事業 計			375,304	107.1%	5,761	△2,466	386,346	102.9%	6,800	+1,038
㈱阪食	スーパーマーケットの経営	100.0%	90,279	100.5%	1,726	+24	93,754	103.8%	1,900	+173
㈱阪急フーズ	食料品製造・販売業	100.0%	2,588	107.2%	180	+5	2,645	102.2%	190	+9
㈱阪急デリカ	食料品製造・販売業	100.0%	7,245	102.1%	202	+9	9,213	127.2%	370	+167
㈱阪急ペーカリー	食料品製造・販売業	100.0%	2,501	107.9%	52	+16	2,641	105.6%	70	+17
スーパーマーケット事業 計			91,627	100.8%	1,798	+60	95,404	104.1%	2,023	+224
㈱阪急商業開発	商業不動産賃貸業	100.0%	4,437	94.4%	818	+582	3,994	90.0%	510	△308
㈱大井開発 (注)1	ホテル業	100.0%	2,976	166.1%	792	+486	3,044	102.3%	650	△142
㈱阪急製作所	店舗建装業	100.0%	3,826	69.3%	49	△34	5,000	130.7%	60	+10
㈱ハートダイニング	飲食店業	100.0%	3,585	103.6%	86	+43	3,450	96.2%	40	△46
PM事業 計			13,048	96.7%	1,740	+1,116	11,699	89.7%	1,261	△479
㈱阪急キッチンエール関西 (注)2	食料品等の個別宅配業	100.0%	7,021	100.5%	58	+7	7,550	107.5%	119	+60
㈱阪急オレンジライフ	食料品販売及び宅配	96.0%	4,718	-	△ 2	△2	4,880	103.4%	34	+36
㈱阪急デザインシステムズ	デザイン製作業	100.0%	3,181	108.9%	214	+102	3,350	105.3%	200	△14
㈱阪急メンテナンスサービス	ビルメンテナンス業	100.0%	2,378	109.4%	71	+10	2,673	112.4%	61	△10
㈱家族亭	外食業	73.4%	4,220	-	69	+69	8,247	195.4%	200	+130
中野食品㈱	食料品製造・販売業	73.4%	2,951	-	18	+18	6,948	235.4%	151	+132
その他事業 計			25,608	249.8%	1,554	△215	36,551	142.7%	992	△562
連結 計			505,588	108.7%	9,957	△597	530,000	104.8%	10,000	+42

※主な子会社についてのみ記載しているため、各社の数値の合計はセグメント別の合計と一致しません。

(注)1 ㈱大井開発と㈱アワーズイン阪急は平成23年4月1日付で合併しました。平成23年度実績の前期比、前期増減については、前期までホテル事業を営んでいた㈱アワーズイン阪急の前年実績と比較しております。

(注)2 ㈱阪急キッチンエール関西は平成23年1月4日付で設立され、㈱阪急キッチンエールより事業を承継しているため、平成23年度実績の前期比、前年増減については、2社の前年実績を合算して比較しております。

3. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	平成23年度実績		平成24年度予想	
	金額	前期増減	金額	前期増減
㈱阪急阪神百貨店	7,366	△ 12,096	22,079	+14,712
百貨店事業 計	7,366	△ 12,096	22,079	+14,712
㈱阪食	1,555	△ 6	2,849	+1,293
㈱阪急フーズ	6	△ 4	30	+23
㈱阪急デリカ	36	+8	89	+52
㈱阪急ベーカリー	15	+1	33	+17
スーパーマーケット事業 計	1,618	△ 30	3,001	+1,382
㈱阪急商業開発	178	△ 145	585	+406
㈱大井開発 (注)	18	△ 9,302	1,378	+1,359
㈱ハートダイニング	27	+12	86	+58
PM事業 計	237	△ 9,545	2,065	+1,827
㈱阪急オレンジライフ	71	+71	45	△ 26
㈱旬工房	84	+84	15	△ 69
㈱エブリデイ・ドット・コム	266	+266	150	△ 116
㈱家族亭	196	+196	270	+73
エイチ・ツー・オー リテイリング㈱	2,758	△ 80	2,718	△ 40
その他事業 計	3,645	+193	3,807	+161
合計	12,869	△ 21,478	30,952	+18,082

※総額及びセグメント別の合計は、単純合算によるものです。

※主な子会社についてのみ記載しているため、各社の数値の合計はセグメント別の合計と一致しません。

(注) ㈱大井開発と㈱アワーズイン阪急は平成23年4月1日付で合併したため、前年増減については、合併した2社の前年実績を合算して比較しております。

4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末	増減	主な増減理由
(資産の部)	335,230	344,187	△ 8,957	
流動資産	63,307	86,332	△ 23,024	社債償還による減少
固定資産	271,922	257,855	+14,067	
投資有価証券	64,300	55,173	+9,127	時価評価差額の増加
(負債の部)	166,375	192,750	△ 26,374	
流動負債	88,891	118,390	△ 29,499	
1年内償還予定の社債	35	20,000	△ 19,964	社債償還による減少
未払金	8,114	18,933	△ 10,818	博多阪急他設備投資の支払による減少
固定負債	77,484	74,359	+3,124	
繰延税金負債	10,546	7,495	+3,050	時価評価差額の増加(法人税相当額)
(純資産の部)	168,854	151,437	+17,417	
資本剰余金	48,257	37,172	+11,085	自己株式の処分による増加
利益剰余金	95,258	96,574	△ 1,316	当期純利益+1,057、剰余金の配当△2,373
その他有価証券評価差額金	6,619	379	+6,239	時価評価差額の増加(法人税相当額控除後)
少数株主持分	1,182	60	+1,122	家族亭子会社化による増加

5. 有利子負債の状況

(1)有利子負債の推移

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末	増減
有利子負債合計	42,319	60,755	△ 18,435
1年内償還予定の社債	35	20,000	△ 19,964
短期借入金	40	—	+40
1年内返済予定の長期借入金	650	166	+484
社債	34	—	+34
長期借入金	41,557	40,589	+968

(2)社債の明細

(単位:百万円)

会社名	銘 柄	当期末	前期末	発行年月日	償還期限
エイチ・ツー・オー リテイリング(株)	2011年満期円貨建転換 社債型新株予約権付社債	—	20,000	平成16年 8月16日	平成23年 8月16日
(株)家族亭	第14回無担保社債	40	—	平成21年 2月27日	平成26年 2月28日
中野食品(株)	第2回無担保社債	30	—	平成19年 3月30日	平成26年 3月28日

6. 販売費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

科 目	当期	前期	対比	売上構成比		販管費構成比	
					増減		増減
販売費及び一般管理費	129,508	118,602	109.2%	25.62%	+0.11	100.00%	—
人件費(報酬・通勤交通費含む)	49,410	47,924	103.1%	9.77%	△ 0.53	38.15%	△ 2.26
賃借料	23,192	21,142	109.7%	4.59%	+0.04	17.91%	+0.08
宣伝装飾費	8,108	6,382	127.0%	1.60%	+0.23	6.26%	+0.88
減価償却費	12,183	9,599	126.9%	2.41%	+0.35	9.41%	+1.31
委託作業費	7,166	6,467	110.8%	1.42%	+0.03	5.53%	+0.08
販売手数料	4,487	4,024	111.5%	0.89%	+0.02	3.46%	+0.07
運搬費	5,876	5,159	113.9%	1.16%	+0.05	4.54%	+0.19
その他	19,084	17,901	106.6%	3.77%	△ 0.07	14.74%	△ 0.36

7. 特別損益の内訳

(単位:百万円)

	当期	備 考
特別利益	1,020	
過去勤務債務償却益	682	人事制度改編に伴う退職給付引当金取崩益(阪急阪神百貨店)
段階取得に係る差益	260	阪急オレンジライフ子会社化に伴うもの
投資有価証券売却益	77	株式売却益(エイチ・ツー・オー リテイリング他)
特別損失	8,494	
人事制度改編に伴う一時費用	5,282	人事制度改編に伴う職種転換一時金他(阪急阪神百貨店)
店舗閉鎖損失	1,766	神戸阪急閉鎖関連費用(阪急阪神百貨店他)
固定資産除却損	662	阪急うめだ本店建て替え工事に伴うもの(阪急阪神百貨店)他
店舗建替関連損失	292	旧大井開発ビル撤去関連費用(大井開発)
減損損失	269	阪急ファミリーストア東加賀屋店他(阪食他)
投資有価証券評価損	222	株式時価下落に伴うもの(エイチ・ツー・オー リテイリング他)

8. 従業員の状況

(単位:人)

	当期末		前期末	
百貨店事業	3,289	(1,837)	3,447	(1,730)
スーパーマーケット事業	1,003	(3,956)	1,016	(3,745)
PM事業	177	(569)	185	(667)
その他事業	1,224	(2,388)	610	(1,130)
合 計	5,693	(8,750)	5,258	(7,272)

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

百貨店事業

1. (株)阪急阪神百貨店の業績

(単位:百万円)

	平成23年度実績		平成24年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	373,903	107.1%	384,700	102.9%
売上総利益	91,817	105.6%	94,686	103.1%
その他の営業収入	1,608	101.1%	1,646	102.3%
営業総利益	93,426	105.6%	96,332	103.1%
販売費及び一般管理費	87,107	109.2%	88,832	102.0%
営業利益	6,319	72.4%	7,500	118.7%

2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成23年度実績		平成24年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
阪急本店(注)1	124,458	94.9%	145,720	117.1%
千里阪急	17,265	99.7%	17,000	98.5%
堺 北花田阪急	10,260	100.9%	10,160	99.0%
川西阪急	18,105	98.1%	17,770	98.1%
宝塚阪急	8,906	97.2%	8,680	97.5%
西宮阪急	23,197	106.6%	23,530	101.4%
神戸阪急(注)2	9,705	106.1%	—	—
三田阪急	1,410	98.1%	1,370	97.2%
博多阪急(注)3	37,259	868.6%	37,000	99.3%
阪急MEN'S TOKYO(有楽町阪急)(注)4	9,087	107.4%	12,000	132.0%
阪急百貨店 大井食品館(注)5	4,745	1228.7%	4,530	95.5%
都筑阪急	7,827	97.9%	7,580	96.8%
阪神梅田本店	92,350	96.2%	90,600	98.1%
あまがさき阪神	3,727	102.6%	3,730	100.1%
阪神・にしのみや	4,579	98.3%	4,430	96.7%
阪神・御影(注)6	882	65.2%	520	58.9%
店舗事業計	373,769	107.5%	384,620	102.9%
広域事業	134	10.2%	80	59.4%
合計	373,903	107.1%	384,700	102.9%

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 平成24年3月11日閉店

(注)3 平成23年3月3日開店

(注)4 平成23年7月19日から10月14日まで改装のため休業し、10月15日阪急MEN'S TOKYOとして開店

(注)5 平成23年3月16日開店

(注)6 平成23年7月24日2階部分の営業終了

3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	売 上 高				粗利益率	
		前期比	構成比	構成比増減		増 減
紳士服・洋品	31,182	119.3%	8.3%	+0.8	30.94%	△0.28
婦人服・洋品	69,790	102.6%	18.7%	△0.8	29.39%	△0.47
子供服・洋品	12,155	100.3%	3.3%	△0.2	25.59%	+0.21
呉服・寝具その他の衣料	13,519	96.1%	3.6%	△0.4	30.90%	+0.22
衣料品計	126,647	105.2%	33.9%	△0.6	29.57%	△0.23
身の回り品	57,342	115.4%	15.3%	+1.1	26.58%	△0.80
家具	2,503	115.3%	0.7%	+0.1	19.76%	△0.92
家電	503	89.1%	0.1%	△0.1	19.58%	+0.52
家庭用品	10,333	100.4%	2.8%	△0.1	26.14%	+0.09
家庭用品計	13,340	102.4%	3.6%	△0.1	24.69%	△0.16
生鮮食品	26,461	106.4%	7.1%	+0.0	18.51%	△0.42
菓子	42,219	114.4%	11.3%	+0.7	16.56%	△0.40
惣菜	34,939	110.2%	9.3%	+0.2	18.33%	△0.29
その他食料品	21,297	103.3%	5.7%	△0.2	23.99%	△0.52
食料品計	124,917	109.5%	33.4%	+0.7	18.73%	△0.49
食堂・喫茶	7,895	98.7%	2.1%	△0.2	17.42%	△0.03
化粧品	23,024	101.6%	6.2%	△0.3	27.38%	△0.21
美術・宝石・貴金属	9,695	110.1%	2.6%	+0.1	21.35%	△0.46
その他雑貨	6,892	86.6%	1.8%	△0.5	24.98%	+2.70
雑貨計	39,612	100.5%	10.6%	△0.7	25.49%	+0.26
サービス	2,481	89.3%	0.7%	△0.1	24.52%	+0.97
その他	1,666	104.5%	0.4%	△0.1	21.05%	+2.86
合 計	373,903	107.1%	100.0%	-	24.56%	△0.35

4. 販売区分別売上高

(単位:百万円)

	売 上 高			
		前期比	構成比	構成比増減
現金・券類	133,209	110.0%	35.6%	+0.9
カード	226,910	106.3%	60.7%	△0.5
(自社カード)	163,362	102.4%	43.7%	△2.0
(他社カード)	63,547	118.1%	17.0%	+1.6
その他(注)	13,783	95.1%	3.7%	△0.5
合 計	373,903	107.1%	100.0%	-

(注) 外商受注(掛売)等

5. 月別売上高前年比の推移

(%)

全 店	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
		113.9	108.3	107.5	104.3	102.7	103.1	106.6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	通期
	107.6	107.8	110.8	108.5	112.1	99.5	107.7	107.1

6. その他の項目

(1) 従業員の状況

人数	平均年齢	平均勤続年数
3,289 (1,837) 人	42.3 才	21.4 年

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

(2) 単位当たり売上高

(単位:千円)

	当期	備考
1人当たり売上高	74,366	売上高÷期中平均従業員数(期中平均臨時従業員含む)
1㎡当たり売上高	1,253	売上高÷期中平均売場(営業)面積

(3) 店別売場(営業)面積、営業日数と入店客数

	売場(営業)面積(㎡)	営業日数(増減)	入店客数(千人)	前期比
阪急本店(注)1	50,015	365 (+1)	34,010	90.2%
千里阪急	13,803	365 (+1)	6,025	98.5%
堺 北花田阪急	16,000	366 (+1)	7,347	99.2%
川西阪急	15,528	365 (+1)	4,946	95.0%
宝塚阪急	7,191	365 (+1)	(注)2 -	-
西宮阪急	25,000	366 (+1)	13,094	102.0%
神戸阪急(注)3	-	346 (-19)	2,907	100.8%
三田阪急	2,143	365 (+1)	(注)2 -	-
博多阪急(注)4	41,835	366 (+337)	29,122	640.1%
阪急MEN'S TOKYO(有楽町阪急)(注)5	11,445	277 (-87)	3,261	105.5%
阪急百貨店 大井食品館(注)6	2,121	365 (+349)	5,169	1231.9%
都筑阪急	16,352	365 (+1)	5,113	96.8%
阪神梅田本店	53,395	365 (+1)	46,003	100.9%
あまがさき阪神	5,329	365 (+1)	(注)2 -	-
阪神・にしのみや	4,998	365 (+1)	4,281	98.2%
阪神・御影(注)7	804	364 (+1)	5,273	96.4%
合計	265,958		166,555	116.9%

※面積は当期末時点

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 入店客数計測器を設置していないため

(注)3 平成24年3月11日閉店

(注)4 平成23年3月3日開店

(注)5 平成23年7月19日から10月14日まで改装のため休業し、10月15日阪急MEN'S TOKYOとして開店

(注)6 平成23年3月16日開店

(注)7 平成23年7月24日2階部分の営業終了